

# 家づくりから始める街並みづくり

## 「八潮街並みづくり100年運動」2年目の活動

市民の皆さんと一緒に50年、100年後を見据え「八潮らしい魅力ある街並み」の創出を目指し、「街並みづくり100年運動」を進めています。

問都市デザイン課 ☎346

街並みづくり100年運動とは？

「景観10年、風景100年、風土1000年」と言われるように、美しい街並みは一朝一夕にできるものではありません。日本各地に見られる美しい街並みや景観は、そこに住み、暮らす人々が主体的に街並みをつくろう、守ろうという共通の考えの基に、自らが実行し残してきた努力の結果といえます。

本市で、街を歩いていて「歴史的な街並みが残っている」「良い景観だ」と感じるものが少ないのは、昭和30年以降の急速な人口の増加に伴う宅地化や工場などの進出により、東京近郊の農村であったまちが、無秩序に大きく変わったことにより、特徴の見えにくい街並み景観となっていたのです。

平成17年には、つくばエクスプレスも開通し、再びまちの景観が大きく変わろうとしています。

そこで、街並み景観を構成する建物に視点を置き、50年後、100年後を見据えた本市の景観の礎となる施策を、市民の皆さんをはじめ事業者・行政が協働し進めることが必要だと考えました。このため、市では八潮街並みづくり100年運動実行委員会の設立を呼びかけ、この実行委員会（鈴木俊一会長）が主体となり、市民の皆さんと共通認識を図りながら、誇りと愛着を持てる「地域に根ざした八潮らしい街並み」をつくることを目的として100年運動を開始しました。また、この活動には建築の専門的アドバイスが必要なことから5大学（日本工業大学・東北工業大学・信州大学・茨城大学・神奈川大学）と連携し「八潮の地域特性を活かした建築ガイドライン」の策定に向けて調査・研究を進めています。

### 平成21年度の事業報告

街並みづくり100年運動は、平成20年4月から八潮街並みづくり100年運動実行委員会を中心に活動を進めています。2年目を迎えた平成21年度の活動状況をお知らせします。

#### 家づくりスクール（全4回）を開講

家の建替えや、新たに建たいと考えている市民の方を



家づくりスクールの様子

#### 家づくりスクールの主な流れ

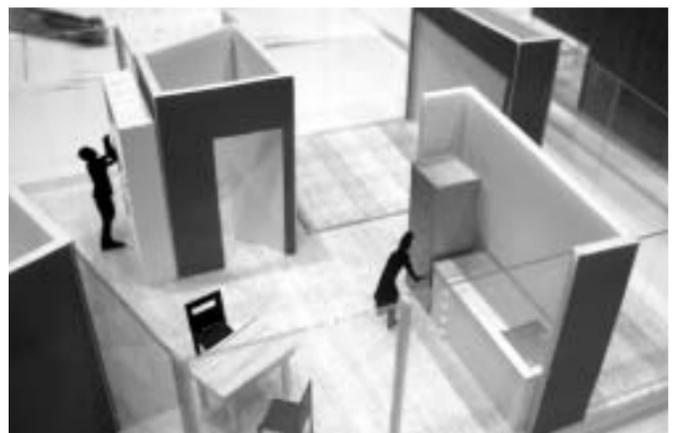
- ・家づくり講話
  - ・要望を聞く
  - ・現地調査
- 第1回目

- ・家づくり講話
  - ・第1回提案
  - ・提案協議
- 第2回目

- ・第2回提案
  - ・提案協議
- 第3回目

- ・最終提案
  - ・成果
  - 住宅模型
  - 住宅設計図
- 第4回目

完成模型の一例



完成した設計図の一例



注意：家づくりスクールで完成した図面を利用したの建築行為は、ご遠慮頂いていますので、ご了承ください。